



【北村裕寿 きたむらひろとし】33歳
(株) 創伸 代表取締役

て売り上げを増やすこととは考えていません。仕事の量に合わせて今の人数になりました。これ以上に人数を増やす気はなく、責任施工の信頼関係でやっていきたいです。

営業・施工・経理など、やることが多くて大変だと思えますが。(北村) 日々いろいろな先のことを見すえてやっています。建築一本でやっていけるのかということもあり、これからの課題です。建築へのこだわりはありますか。

(北村) 一貫しているのは、土にかえるもので仕事をする事です。木や土などを使った昔ながらの工法で、現代に対応できる建築の仕事が増えてきました。琴浦町で国の文化財に指定された河本家住宅の仕事もあります。奈良の親方についていた時には、山に入って木を購入し、製材することを教わりました。松の材質は大山町が日本一だと思えます。水脈や雪や気候の関係だと思えます。

こうしたらもっと町がよくなるという提案などがありますか。

(中村) やはり大山町の一番の資源は水。「築き会」を立ち上げた要因でもあります。水を大切にすることが大事だと思います。

(大廻) 私は松江出身で神戸に行き、理学療法士をしていました。都会は人工物が多いですが、大山町は海あり山あり川ありでいやすれるという声が多いと思えます。

大山町は自然がいっぱいなのに、生かしきれないということでしょうか。

(大廻) もっと生かすべきだと思います。(中村) 都会の人があこがれているのは、自然が豊かなところです。全国を見ても太平洋ベルト地域以外はほとんどが田舎。水や自然が豊かな地域は他にありませんが、なぜ大山町の自然がよいと思われたのでしょうか。

(大廻) 自然が凝縮して、ロケーションがよいです。せまい範囲に山の幸も、海の幸もあるのが魅力です。(北村) 海と山があるのは、かなり魅力的なことだと思います。神田では大山と日本海がよく見えます。

(中村) 大山町は、太平洋側に比べて食材の質がとてよく、売りが込めばブランドになるはずですが。

「築き会」の最近の具体的な活動は、どういうことをされていますか。

(中村) 山香荘で食の事業が進められていますが、応募者と縁があり交流しています。今後は、1ターンの相談も受けたいですし、みんなで話し合ったことをイベントなどの形にもしたいです。

最後に、町政へ要望などがありますか。

(中村) 先日の暴風雨で御崎港の網が流されました。被害にあった

人に支援があればよいと思えます。

(大廻) ゼロから起業することは大変だと実感しています。起業のリスクが少なくなるような支援があればよいと思えます。

(北村) やはりコミュニケーションが一番大事だと思います。人が集まればよいアイデアや考えを取り入れることができます。

(中村) 議員さんと話をするのは初めてでしたが、話す前と今では印象が違いますので、話す場は大事だと思います。

取材を終えて

築き会の名前の由来は、「築」に北村さんがあつかう木と大廻さんがあつかう竹があり、地元よさを「築く」と「気付く」という2つの意味があるということでした。

現在は、地域資源を見つめ直そうというテーマに関して、2週間に1回のペースで話し合っているそうです。興味のある方は、企画情報課の未来づくり戦略室までお問い合わせ下さい。

0859・54・5202



【大廻慎司 おおさこしんじ】36歳
(株) 大山竹炭工房 代表取締役